

経営理念・企業行動憲章・行動規範

経営理念

私たちは、国内外における石油・天然ガスの開発を主体とし、エネルギーの安定的かつ効率的な供給を実現することを通じて、豊かな社会づくりに貢献する総合エネルギー企業を目指します。

企業行動憲章

当社グループは、長期的な視野に立って効率的かつ積極的な事業運営を進め、社会的責任を果たし信頼される企業であり続けるため、経営トップの率先垂範の下、ステークホルダーの関心に配慮しつつ、以下の原則に基づき、たゆまぬ努力を続けていきます。

1. 社会や産業に不可欠なエネルギーの安定的かつ効率的な供給を実現します。
2. エネルギー供給を担う企業として、すべての事業活動において安全操業・管理を徹底します。
3. すべての事業活動において、法令の遵守はもとより、人権を含む各種の国際規範や操業地域における社会的規範に沿った良識ある行動をとります。
4. 株主、従業員、取引先、ビジネスパートナーをはじめ広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示します。また、各種情報の保護・管理を徹底します。
5. 従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、ゆとりと豊かさを実現すべく、労働安全衛生を確保し、働きやすい環境や能力開発の機会を提供します。
6. 環境問題への取り組みは企業の存在と活動に必須の要件として、主体的に社会の持続可能な発展に貢献します。
7. 良識ある社会の一員として、各国・各地域の文化・習慣に配慮し、当該国・地域の経済社会の発展に貢献する経営を行います。

2012年4月23日 改定

行動規範

当社グループのすべての役員および従業員は、適切な経営を実施し、良識ある社会の一員としてその責任を果たすために以下の項目を常に念頭に置いて日々業務を遂行しています。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 法令等の遵守 | 5. 従業員の尊重 |
| 2. 人権の尊重 | 6. 環境、安全及び衛生への取り組み |
| 3. 社会への貢献 | 7. 会社の資産・財務の健全性の確保 |
| 4. ビジネス倫理の尊重 | |

2008年10月1日 制定
主要項目のみ記載



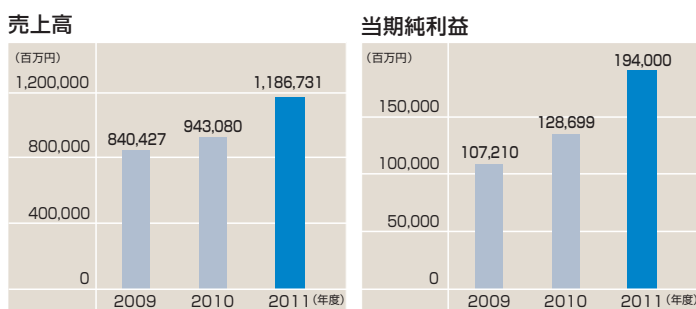
詳細は、当社
ウェブサイトに
掲載しています

<http://www.inpex.co.jp/csr/>

会社情報

商号	国際石油開発帝石株式会社 (英文商号:INPEX CORPORATION)
設立	2006(平成18)年4月3日
資本金	2,908億983万5,000円
住所	〒107-6332 東京都港区赤坂五丁目3番1号 赤坂Bizタワー(31~34階・38階) TEL.03-5572-0200(代表)
決算期	3月
従業員数	2,146名(連結) 2012年3月末現在
主な事業	石油・天然ガス、その他の鉱物資源の調査、探鉱、開発、生産、販売 および同事業に付帯関連する事業、それらを行う企業に対する投融資

財務データ(連結)



地域別ネット生産量



地域別確認埋蔵量^{※2}



※1 原油換算量

※2 米国証券取引委員会(SEC)規則に従った数値。持分法適用会社の持分を含む。

編集方針

国際石油開発帝石グループでは、当社グループが展開しているCSR活動をステークホルダーの皆さまにお伝えするため、毎年「CSRレポート」を発行してきました。

2012年版では、2011年版に引き続き「グローバル企業として、海外での課題や取り組みに関する情報開示を拡充すること」「海外プロジェクトにおける情報開示を充実すること」「冊子版とウェブサイトとの連携を図ること」を踏まえた上で、「サステナビリティレポート」と改題し、下記のような編集方針としました。

1. エネルギー企業として当社が果たすべき役割を表明する。
2. CSR推進体制の確立によるCSR経営強化への取り組みを報告する。
3. CSR重点テーマに対するステークホルダーとの双方向コミュニケーションを報告する。
4. 報告内容のより一層の充実をはかり、説明責任を果たすことのできる報告とする。

参照ガイドライン

GRI「サステナビリティ・レポートガイドライン第3.1版」

対象期間

2011年4月～2012年3月(一部2012年4月以降の内容を含みます)

CONTENTS

4	トップコミットメント
8	INPEX中長期ビジョン
10	INPEXグループのCSR
12	主なステークホルダーとのかかわり
14	事業活動
16	特集1 エネルギーの安定供給 社会が求めるエネルギーを日本へ
18	特集2 イクシスLNGプロジェクトとCSR
20	特集3 ステークホルダー・ダイアログ グローバルなエネルギー企業に期待されること
22	マネジメント
23	コーポレート・ガバナンス
24	コンプライアンス
25	リスクマネジメント
26	HSE マネジメントシステム
30	環境
31	事業活動に伴う環境影響
32	地球温暖化防止対策
33	生物多様性保全
34	環境負荷の低減
36	気候変動への対応
38	社会
39	安全管理
42	地域との信頼醸成と貢献
43	地域社会貢献活動
46	ビジネスパートナーとの公正取引
47	製品の品質管理
48	人材育成と活用
51	健康管理
52	適切な情報開示
53	第三者意見
54	コミュニケーションツールの紹介
55	WEB「CSR」2012 一覧表

対象範囲および集計範囲

- 国際石油開発帝石株式会社および連結子会社59社。

免責事項

本レポートは、「国際石油開発帝石とその関係会社」(国際石油開発帝石グループ)の過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらの予測・予想・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいているため、これらには不確実性が含まれています。従って、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が、本レポートに記載した予測・予想・計画とは異なる可能性があります。国際石油開発帝石グループは、このような事態への責任を負いません。読者の皆さまには、この点をご承知いただき、本レポートをお読みいただくようお願い申し上げます。

表紙について

エネルギー企業として、社会や環境に配慮しながらエネルギーの安定的かつ効率的供給を通じて明るい未来に貢献したい(Energy for a bright future)という当社の想いを込めています。背景の写真に用いているマンガロープは、当社がオーストラリアで進めるイクシスLNGプロジェクトの拠点となる北部準州のダーウィン湾にも多数自生しており、自然環境に配慮した事業活動を実施していることを表現しています。